

『Mind Charging』

第 37 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 5 月 22 日

松下幸之助の名言



人には燃えることが重要だ。

燃えるためには薪が必要である。

薪は悩みである。

悩みが人を成長させる。

世界的にも有名であり、メーカーというより『ブランド』としての地位にまで昇りつめているといっても過言ではない『パナソニック株式会社』は、彼がたった一代で築き上げた会社であるという時点で、松下幸之助という人間がいかに優秀な人物であったかは容易に想像がつきます。『経営の神様』と称された彼の魅力は、電気に関する知識や商売の才能もさることながら、今回紹介する言葉に象徴されるような『熱意』にあったと思います。彼の残した言葉は他にも多く語り継がれているものがありますが、今回の言葉に勝るとも劣らない熱意を感じるものばかりです。

私たちは今までもこれからも様々なことに取り組むことになるでしょう。例えば生活の中の取り組みのひとつである食事。とにかくお腹を満たすことや栄養を補給する『作業』として黙々と食事をするのか、気の合う仲間や家族と会話を楽しみながら、命をいただくという意識で深く味わい、作ってくれた人への感謝を伝えながら食事をするのかでは、その時間の価値は随分変わってくると思います。会話から得た情報が自分の人生のヒントになったり、『おいしい！』と言ってもらったことで、作った人の心を和ませ、さらにおいしいものを作る意欲を生むのではないのでしょうか。人を動かす一番の原動力は『気持ち』です。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

松下 幸之助(まつした こうのすけ、1894 年<明治 27 年>11 月 27 日 - 1989 年<平成元年>4 月 27 日)は、日本の実業家、発明家、著述家。パナソニック(旧社名：松下電気器具製作所、松下電器製作所、松下電器産業)を一代で築き上げた経営者である。異名は「経営の神様」。その他、PHP 研究所を設立して倫理教育や出版活動に乗り出した。さらに晩年は松下政経塾を立ち上げ、政治家の育成にも意を注いだ。(Wikipedia 参照)